

2026年度 カレッジスポーツセンター FD活動方針・活動計画

2026年度カレッジスポーツセンターでは、全学のFD方針に基づき、以下の取り組みを実施する。1977年設立以来の歴史と伝統を引き継ぐとともに、新たな挑戦と改革をもって、カレッジスポーツセンターのビジョンである「学生の競技力向上の推進」と「社会で活躍できるたくましい人間力の育成」の実現を目指していく。また、全強化育成クラブが大学日本一を目指して挑戦し、その過程において全構成員がC2Cの理念を実践していく。

1. 基礎的スキルの育成、基幹科目の強化、105分化授業への対応

(1) (継続方針) 基礎的スキルの育成 「Life Skill Program」の実施

学生アスリートに求められる専門的な知識や技能*の習得・向上を目的とする。2023年度より継続して月1回、年間8回以上実施。対象は1、3年生とし、隔年でスキル確認を図る。

*例 競技と学習の両立、自分の心身と向き合う、スポーツ栄養実践、負傷予防と身体の仕組み、アスリートのための医学、アンチドーピング(新年度より実施)、アスリート経験を生かした就職活動等。

(2) (継続方針) 基幹科目の強化 「競技スポーツ実践」

- ① センター会議(月例)：各実践の活動報告を実施(2~3クラブ/月)
- ② 目的：上記ビジョンの実現(そのための、指導力向上及び学生の学びの質の向上)
- ③ 実施内容：次の内容を報告し、情報共有をして、相互研鑽の場とする。
 - ア. 大会の結果・予定・重視する大会
 - イ. 練習内容(週間・年間計画・場所)
 - ウ. 特徴的な取組み(他のクラブにも参考となるような取組み)
 - エ. 他の指導者に意見や情報を得たいこと

(3) (継続方針) 105分化授業への対応

「スポーツ実践」の授業*について、次の工夫等を行い、教員間でも共有を図っている。

*対象：一般学生(例 軽スポーツ、トレーニング、バドミントン、バスケットボール等)

- ① より十分な安全対策：体調管理・観察・指導、適度な休憩(実質的な休憩)、熱中症対策(水分補給への配慮)、けが予防等
- ② 集中力維持、学習意欲向上のための工夫：ハーフタイムの導入、前半・後半で内容的変化をつける、人数制限を極力回避して希望の種目選択ができるようにする、環境設定(音楽を流す等)、座学：クイズ形式の活用等

2. 学生の構成が変化する中での最適な授業づくり

上記1.(2)のセンター会議における「競技スポーツ実践」(各強化育成クラブ)の活動報告のなかで、「学生の構成が変化する中で構築している最適な授業づくり」についても考慮したうえで、報告をしていただく。情報共有をして、相互研鑽を図る。

以上